

2015.5.10 富士山須走山スキー報告

吉川です。

GW 不完全燃焼気味！急遽富士山山スキーに参加し、これが、山スキーと思えない板を担いで藪を漕ぎ、雪を求めて砂礫帯をトラバースし、最後は沢地形を下り変化に富んだ山スキーを満喫した。

【山城】富士山 【ルート】須走ルート 【メンバー】L 菊池、吉川（記） 【登山方法】山スキー

【行程】5/10 千葉 3:45ー穴川 ICー東名高速ー御殿場 ICーアザミラインー須走 5 合目（標高 2000m）7:40
ー2980m12:45/13:15ー滑降開始（2300m 位まで滑走）ー須走 5 合目 15:10ー帰葉

【内容】5/10（晴れ）やや風強し

新緑に色を添えるツツジの上に浮かぶ富士山は黒々して白い筋をつないで行けるのか？5 合目の駐車場には、



数台の車、なんとさみしい事。発煙筒、ピッケル持参の重装備です。板を担いで沢筋を渡り登行開始、雪が出てきたところで、シール登行するも直に藪に突入悪戦苦闘の末、また、板を担ぎ、藪の向こうの雪を求めて進む。

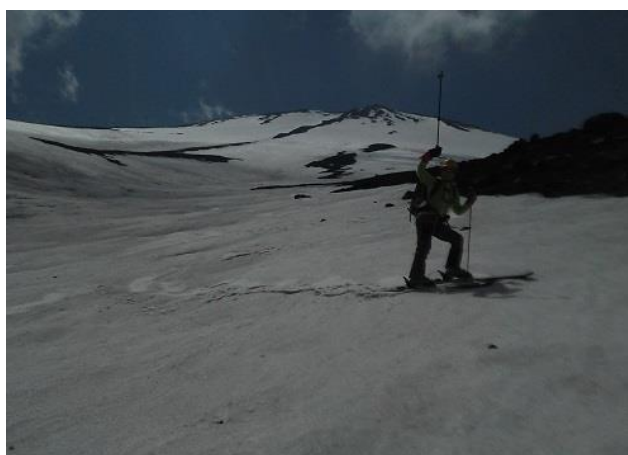
草原に逃げほっとして今度は、沢地形の雪をひろいと、標高 200m の藪漕ぎに小 1 時間を費やしたようだ。その後も、板を持ったり、シール登行の繰り返し、2500m 辺



りからは、凸凹ながら落ち着いてシール登行となる。上空の雲は、激しく舞い風が強そうだが、ここは、快適だ！2800m 辺りで、単独滑走者に会う。ザラメの下が凍っているようなので途中から滑降してきたようだ。やや傾斜もきつくなり気温も高いせいか、シールが滑るようになりアイゼンで登る。凸凹斜面の滑走はいやだな〜と愚痴



ると、リーダーに聞こえたのか？・・・暫くして、宝栄山方向に砂礫帯をトラバースするとの、リーダー指示に従い100m位トラバースしたら、ザラメの広大な雪渓に出て嬉しくなった。しかし、タイムリミットが迫っていた。2980m地点で12時45分となり、この地点から滑走した。



最初の2、3回ターンすると、不安も消え快適な滑りに大満足！テレマーカーのリーダーは、今日は、なぜかアルペンで、華麗な滑りを披露してくれた。600m滑って、砂礫をトラバースして往路を100m滑って、登山道寄



り沢地形を、板を担いでぐんぐん下る。これがまた面白い！途中ちょっと心配になったが、GPSに従いドンピシャリ駐車場出た。

この時期、何度も富士山ツアーに参加してきたが、人も、雪もこれ程少ないのは初めてでした。

急な参加表明で、静岡県警に二度も計画書の提出し、リーダーにご面倒をかけましたが、テンションの上がる山行ができました。ありがとうございました。

1枚目の須走駐車場から見る富士山全景の写真に登り（赤）と下り（青）を記入しました。3000m以上は真白な広大な斜面であり、快適滑走が期待できるが、高度を上げるには、体力と、時間的余裕が必要である。今回は、やや不安定で風の強い日であり、高度を上げるには不向きな日であった。この時期、例年の須走ルートでは、標高 2300m 位までは、雪がつながっており快適な滑走が約束されていたが、今年ほど残雪が少なく、快適斜面の滑走を目指して右往左往することは初めてであったが、今までとは違った味のある富士山山スキーであった。